

授業科目名称 : 栄養教育論実習Ⅱ（実践的教育科目） 授業コード： 22621

授業科目英文名称： Nutritional Education Practice Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	1	必修
担当教員			
高江洲 有沙（実務経験のある教員）			
展開方法	実習		
ナンバリング	IB354		
添付ファイル			

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力	・対象者を取りまく環境と病態との関連性を明らかにし、一次予防の必要性を説明することができる。	・定期試験	30%
情報収集、分析力	・対象者の食行動の問題点を把握し、その解決に向けた教育内容の計画の立案ができる。	・定期試験	30%
コミュニケーション力	・高度な知識を平易な言葉で表現し、カウンセリング技法を用いて適切な食生活実践に向けて行動変容に導くための栄養教育ができる。	・ロールプレイ	15%
協働・課題解決力	・管理栄養士になることを自覚し、栄養教育・指導を行うことに意欲的に取り組むことができる。	・授業態度 ・プレゼンテーション	10% 15%
多様性理解力			
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	栄養教育論実習Ⅰに引き続き、様々なライフステージの対象者に応じた栄養教育を行うことができる技術や手法を修得する。個人栄養教育では、自身で立案したプログラムのロールプレイを通し、繰り返し行うことで実践的な能力を修得する。さらに、栄養教育マネジメントで用いるプリシード・プロシードモデルを用いて、集団を対象としたアセスメントから、計画、実施、評価までのプログラムを立案し、食環境づくりの事業企画を行う一連の流れを理解し、実践的に展開できる能力を修得する。			
アクティブラーニングの類型	②③④⑥⑪			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	・定期試験（60％）は、実習内で学修した栄養教育論や公衆栄養学等を基礎とした内容や栄養教育計画の立案、栄養教育に必要なポイントを理解しているかを筆記試験で行う。ロールプレイ（模擬個別栄養教育7回）の評価（15％）は、対象者のアセスメント結果を反映させた課題解決が望める栄養教育であるか、行動科学理論やモデル、カウンセリング技法を活用されているか、対象者にとって平易で理解しやすいか評価する。プレゼンテーション（集団栄養教育）の評価（15％）は、課題に合致しているか、聞き手にとって平易で理解しやすいか等を評価する。なお、プレゼンテーションおよびロールプレイの評価は、模擬栄養教育終了後の事後レポートと併せて評価を行う。授業態度（10％）は、実習へ臨む態度、グループでの取り組む姿勢や班員との協力態度等で評価する。 ・資料やレポートの提出はポートフォリオを活用し、授業内でフィードバックする。			
授業概要	・集団および個別を対象に想定し、問題解決に向けてカウンセリング技法や行動科学理論に則った模擬栄養教育を行うことを主とした授業内容である。 ・テーマによって3～6名のグループを基本とし、模擬栄養教育やプレゼンテーションを行う。実施後は、全員でディスカッションを行い、内容等を評価し合う。 ・担当教員の学校や行政機関等での実務経験から現場をイメージした具体的なアドバイスをを行い、より実践的な技術の修得へ導く。 ・授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。			
教科書・参考書・指定図書	教科書：「改訂 マスター栄養教育論実習」，建帛社 参考書：日本栄養士会編「管理栄養士・栄養士必携」，第一出版、サクセス管理栄養士・栄養士養成講座「栄養教育論」，第一出版 指定図書：「改訂 マスター栄養教育論実習」，建帛社			
授業外における学修及び学生に期待すること	・栄養教育の実施においては、対象者との信頼関係が不可欠であり、その際には栄養カウンセリング技法の活用が求められるため、それらを日ごろの生活から意識し、多くの人とコミュニケーションを図る中で実践することを求める。 ・授業中の私語、携帯電話、メール等は厳禁、無許可での途中退出は不可とする。			
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習
	1	個別栄養教育 (1-1)	特定保健指導 初回面接の実施① SOAP形式による記録	特定保健指導およびその対象の特徴を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。 栄養カウンセリングとSOAP形式による記録を復習する。

2	個別栄養教育 (1-2)	特定保健指導 初回面接の実施① SOAP形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート)	行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングとSOAP形式による記録を復習する。
3	個別栄養教育 (1-3)	特定保健指導 初回面接の実施② SOAP形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート)	行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングとSOAP形式による記録を復習する。
4	個別栄養教育 (1-4)	特定保健指導 初回面接の実施③ SOAP形式による記録 (初回面接のロールプレイ) (事後レポート)	行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。栄養カウンセリングとSOAP形式による記録を復習する。
5	個別栄養教育 (1-5)	特定保健指導 最終面接の実施④ SOAP形式による記録 (最終面接のロールプレイ) (事後レポート)	行動科学理論を踏まえた栄養教育が行えるよう予習する。最終面接の方法や栄養カウンセリングとSOAP形式による記録を復習する。
6	個別栄養教育 (2-1)	動機づけ面接法を採用した栄養教育① 糖尿病患者への栄養教育の実施(事例1) (ロールプレイ)	動機づけ面接を活用した栄養教育の方法を予習する。糖尿病患者の気持ちを理解した動機づけ面接を復習する。
7	個別栄養教育 (2-2)	動機づけ面接法を採用した栄養教育② 糖尿病患者や肥満児への栄養教育の実施 (事例2) (ロールプレイ) (事後レポート)	動機づけ面接を活用した栄養教育の方法を予習する。糖尿病患者や肥満児の保護者の気持ちを理解した動機づけ面接を復習する。
8	個別栄養教育 (3-1)	高齢者の在宅訪問における栄養教育の実施 (ロールプレイ) (事後レポート)	高齢期の特徴をふまえた在宅訪問における栄養教育の方法を予習する。高齢期の在宅訪問における栄養カウンセリングを復習する。
9	集団栄養教育 (4-1)	プリシード・プロシードモデルを用いて、 学童期・思春期の現状把握と課題抽出	学童期・思春期に関する特徴や問題点を復習し、プリシード・プロシードモデルを予習・復習する。
10	集団栄養教育 (4-2)	学童期・思春期の現状から課題解決に向けた食環境づくりに関する集団栄養教育の事業計画書作成	学童期・思春期に関する特徴や問題点、食環境づくりについて予習する。各期の栄養教育のポイントを復習する。
11	集団栄養教育 (4-3)	集団栄養教育の準備 (教育媒体作成等)	学童期・思春期へ分かりやすいプレゼンテーションに向けて予習する。各期に栄養教育のポイントを復習する。
12	集団栄養教育 (4-4)	集団栄養教育の準備 (教育媒体作成、リハーサル等)	学童期・思春期へ分かりやすいプレゼンテーションに向けて予習する。各期に栄養教育のポイントを復習する。
13	集団栄養教育 (4-5)	学童期・思春期への集団栄養教育実施 (栄養教育のプレゼンテーション) (事後レポート)	学童期・思春期へ効果的なプレゼンテーションに向けて予習する。教員・学生等からの評価内容を基に振り返る。
14	健康危機管理 (5-1)	災害時における備蓄食の検討① (病院における災害時用献立の作成)	災害時における給食施設の備蓄食を予習する。災害時の献立を考える際のポイントを復習する。
15	健康危機管理 (5-2)	災害時における備蓄食の検討② (病院における災害時用献立のプレゼンテーション) (事後レポート)	災害時における給食施設の備品を予習する。教員・学生からの評価を基に復習する。
16	定期試験		